

かん きょう

いわて環境 ワークブック

環境について
考えよう！



サケット



岩手たまき



岩手のぞみ



岩手県3R推進キャラクター
エコロール



岩手県PRキャラクター
エコそばっち

●社会4年 各県地理 [内容(6)] ●社会5年 我が国の国土 [内容(1)]
●社会5年 森林資源の働き [内容(1)] ●理科5年 流れる水の働きと土地の変化 [内容B(3)]
●社会5年 水産業 [内容(2)]



岩手でも季節が変わってきている？

さくらの開花時期
ここ10年で2日ほど
早まっている

温暖化のえいきょうでだんだん気温が高くなってきているので、さくらの開花時期は早まり、秋の紅葉はおそくなってきています。

※2020年平年値(1991～2020年)と2010年平年値(1981年～2010年)の差

秋の紅葉時期
ここ10年で6日ほど
遅くなっている

(注)カエデの紅葉



昔と
少しずつ
変わってきた
ようじゃな

地球の温度が上がってきているよ！



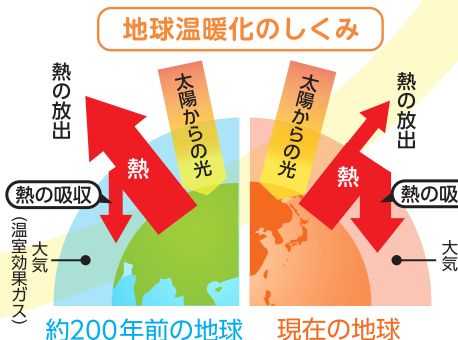
海面が上しょう
最大約1m

地球温暖化が進めば、海の水が熱でふくらんだり、南極の氷がとけ海の水が増えて、2100年ごろまでには、海面が最大約1m上しょうするといわれています。

地球の温暖化が問題になっています。
その原因と取り組みを知り、みんなで考えてみましょう。

地球温暖化

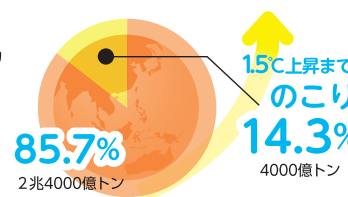
地球温暖化とは、地球の温度(気温)が上がっていくことをいいます。このままどんどん温かくなっていくと、人間や動物、植物たちがこれまでのように生きていけなくなってしまいます。



地球温暖化は、二酸化炭素などの温室効果ガスが増えすぎて、太陽からの熱が大気中にこもってしまうことで起きています。二酸化炭素は、電気を作ったり、ごみを燃やしたりすることでたくさん発生しています。二酸化炭素を減らすためには省エネや節電、ごみを減らすことが大切です。

世界の目標
1.5℃

世界全体で地球温暖化対策に取り組む「パリ協定(2015年)」では、世界の平均気温の上しを産業革命以前に比べて2℃より低く保ち、1.5℃におさえる目標が示されています。



出典: 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<https://www.jccca.org/>) より

・二酸化炭素がどんな所から出ているか調べよう。

・地球温暖化を防ぐために私たちができることは？

・気象庁
生物季節観測
の情報



・JCCCA
全国地球温暖化
防止活動推進
センター



2 わたしたちの生活と環境

かん きょう

お だく
水質汚濁

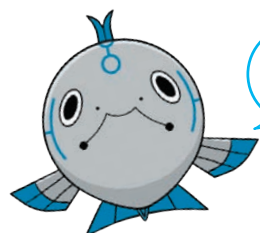
お せん
大気汚染



関連教科

●社会3・4年 飲料水の確保 [内容(3)]
●家庭5・6年 家庭生活と仕事 [内容A(2)]
●理科6年 生物と環境 [内容B(3)]

●社会5年 公害 [内容(1)]
●家庭5・6年 調理の基礎 [内容B(2)]
●家庭5・6年 快適な住まい方 [内容B(6)]



大切な水をよごさないためには?

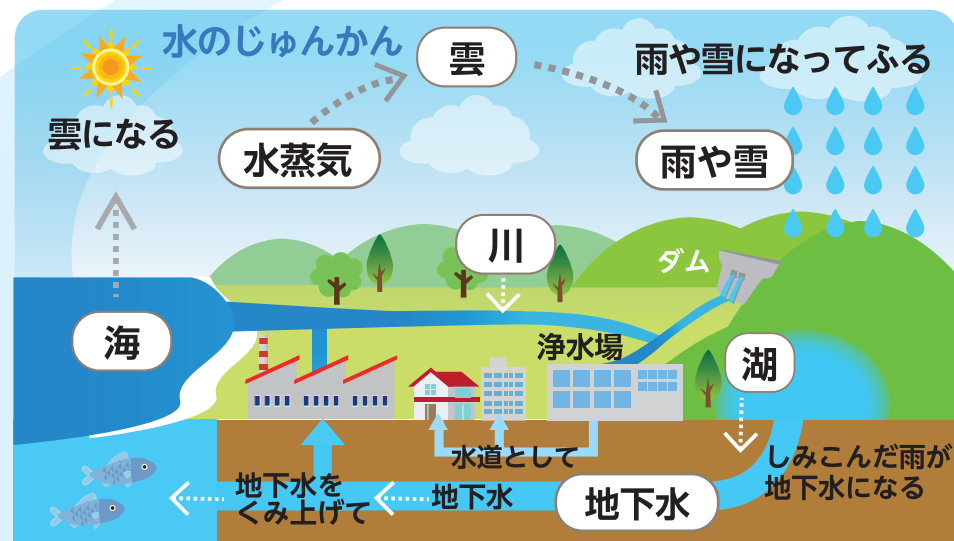
生活にかかせないきれいな水を、わたしたちはどう守り、どう使っていけばよいでしょうか。

水のよごれを防ぐには

水がよごれる原因は、生活排水が大きくかかわっている。日々の生活で汚水を減らすことを意識した行動も大切です。

いわての水質

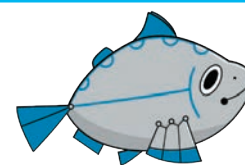
いわての川や海などの水質測定結果は基準達成率が98.3%(令和5年度)。全国平均の89.1%をはるかに上回っています。



水がよごれる原因
生活排水が

50%

水がよごれる原因は、家庭から出る生活排水が約半分をしめています。他に工場の排水などが原因としてあげられます。



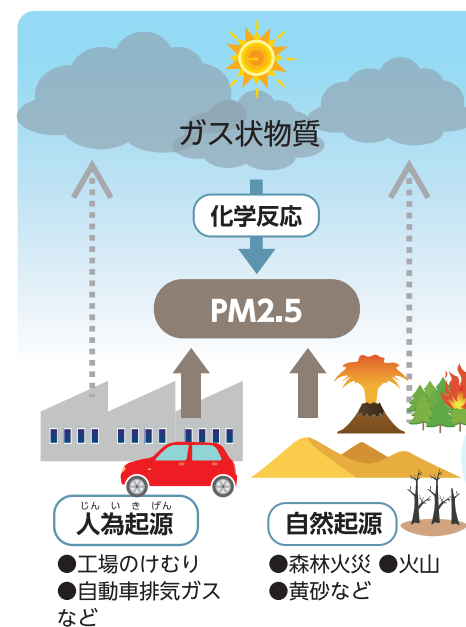
空気がよごれるとどうなる?

空気を吸って生きている人間や動物にとって、空気がよごれる「大気汚染」は深刻な問題です。空気がよごれるとどうなるのか? 空気をよごす主な原因を考えてみましょう。



光化学オキシダント

自動車の排気ガスや工場のけむりなどにふくまれる物質が、太陽のし外線と化学反応を起こすことによって「光化学オキシダント」という有害物質が発生します。



PM2.5

PM2.5とは、大気中にうかんでいる直径2.5マイクロメートル以下のとても小さなつぶ。肺の奥には入りやすく、健康への影響が心配されています。

※マイクロメートル⇒1メートルの100万分の1

酸性雨

工場や自動車から排出される汚染物質がとけこんだ酸性の雨。森林や農作物がかわれる、水の中に生きる生物を死なせてしまうなどのえいきょうをおよぼします。

・川や水をきれいにするアイデアを出そう。

・大気の汚染について調べたり、考えたりしたことを書いてみよう。

・環境省大気汚染物質広域監視システム そらまめくん



・いわての大気環境



・公共用水域水質測定結果



・データブック



・全国水生生物調査のページ



・水生生物調査





スリーアール 3R運動でゴミを減らしましょう!

岩手県では、ゴミの減量化とリサイクルを推進するため、“もったいない”という日本の古くからの知恵を活かし、Reduce (リデュース): ゴミの減量化、Reuse (リユース): くりかえし使う、Recycle (リサイクル): 資源として再生利用する、の「もったいない・いわて3R運動」を行っています。ゴミを減らすために、自分に何ができるか考え、行動していくことが大切です。



Reduce (リデュース)

ゴミの減量化

- 買い物の際はマイバッグを持参してレジぶくろの使用をひかえる
- 必要なものを必要な分だけ買う
- 食べ残しをしない

Reuse (リユース)

くりかえし使う

- 容器はくりかえし使用する
- フリーマーケットやリサイクルショップを利用する



Recycle (リサイクル)

資源として再生利用する

- 市町村のルールを守ってきちんと分別する
- 地域の集団回収、スーパーや小売店の店頭回収に協力する



食品ロスを減らしましょう!

「本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品」のことを食品ロスと呼んでいます。日本では年間約472万トン(令和4年度)・日本の人口1人あたりの食品ロスの量は、おにぎり1個分のご飯(103g)に近い量の食べ物が捨てられていることとなります。



できることから取り組もう!

食品ロスを減らすための取組例

- 使い切れる量の食材を買いましょう
- 食べきれず分量で調理しましょう
- すぐに食べる時は、手前から取るようにして、賞味期限や消費期限の近いものから買いましょう
- エコクッキングで食材を余すところなく使いましょう



海ごみをなくしましょう!

プラスチックごみによる海の汚染が問題になっています。海の汚染を止めるため、資源を大事に使いましょう。



海を守るための取組例

- ポイ捨てをせずルールを守って捨てましょう
- 資源になるものは分別するなど、ゴミをなるべく出さない生活をしましょう
- 地域をきれいにすることが、海をきれいにすることにもつながります

・ゴミを減らすために自分がしていくことを考えよう。

・“もったいない”から始めよう!!
エコロールスタイルのすすめ



・なくそう! 食品ロス
(食品ロス削減対策)



・海ごみ対策について



・消費者庁キッチン
(食品ロス削減レシピ)



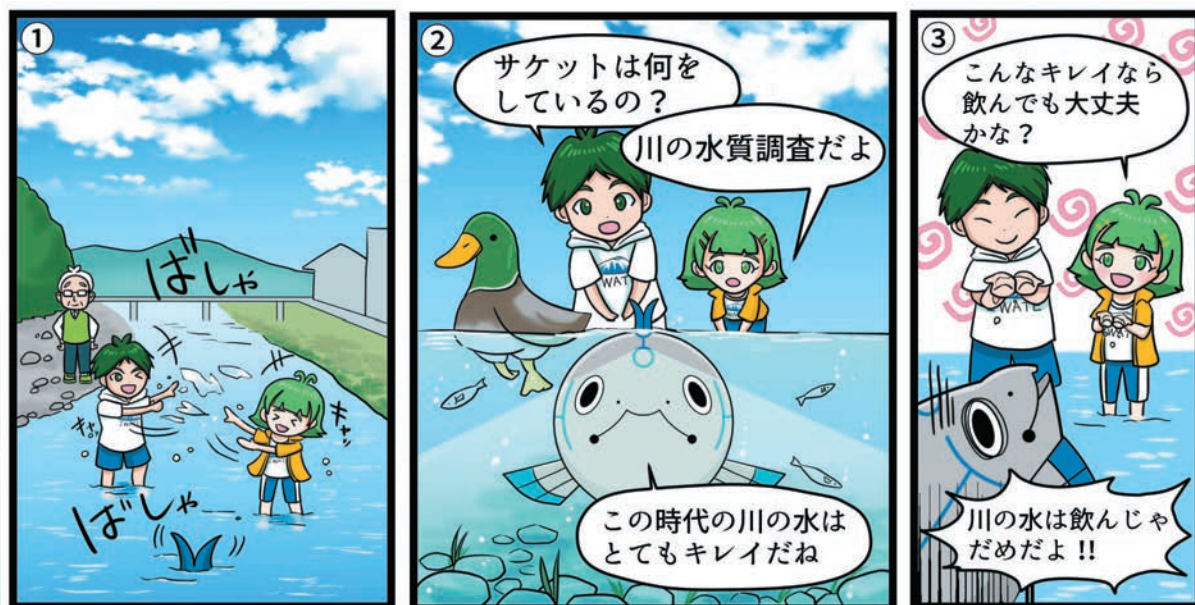
・エコ協力店
いわて認定制度



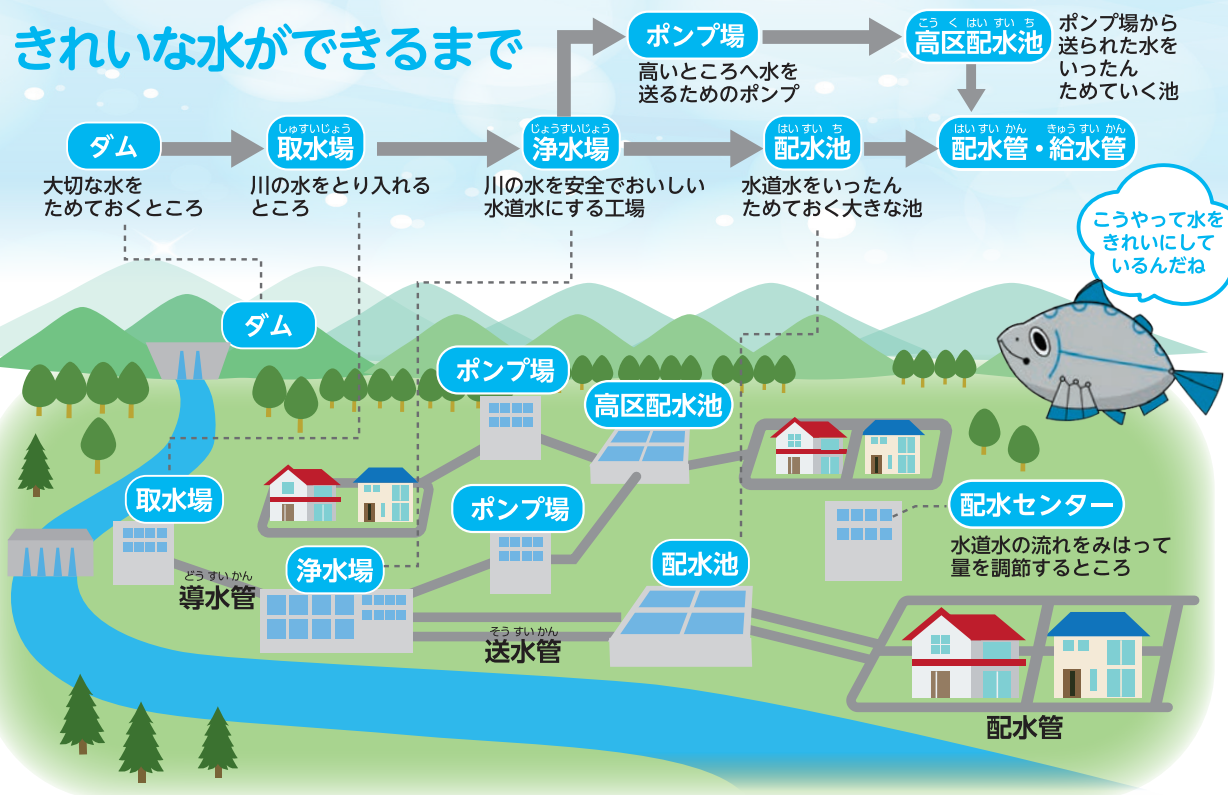
③ 水と生活とのかかわり



関連教科 ●社会3・4年 飲料水の確保 [内容(3)] ●社会5年 公害 [内容(1)]
●家庭5・6年 家庭生活と仕事 [内容A(2)] ●家庭5・6年 環境と生活の工夫 [内容D(2)]



きれいな水ができるまで



水道の水ができるまでの流れ ～浄水場のしくみ～

浄水場では、ダムや川などから取り入れた水を、飲み水として使えるようにきれいにしています。浄水場の機械や配水のためのポンプは、電気を使って動かしています。

北上川の清流化対策

北上川は昔からきれいな水が流れていて、人々の生活をうるおしてきました。ところが、大正時代に入ると川の上流に松尾鉱山ができ、そこから流れ出る酸性の水で川が汚染され、北上川は魚がすめないほどになりました。松尾鉱山が閉山した後は、県や国が水質をきれいにするさまざまな取組を行い、北上川はきれいな川にもどっています。



汚染された松川(北上川との合流点)
(昭和49年(1974年当時))



きれいな松川(北上川との合流点)
(現在)

使える水は
わずか **0.01%**

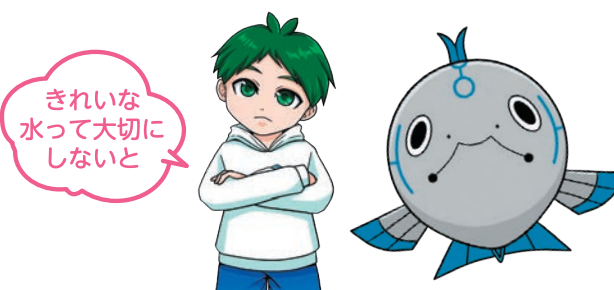
海や川、湖など地球上にある水のうち、私たち人間が利用できるのは、たった0.01%しかありません。

1日に使う水の量
200～300リットル

家庭で1人あたり1日に使う水の量は200～300リットルといわれています。

旧松尾鉱山新中和処理施設

かつて東洋一の硫黄鉱山と呼ばれた松尾鉱山は、昭和46年に閉山しましたが、今なお、大量の坑廃水の流出が続いています。昭和56年に完成した旧松尾鉱山新中和処理施設では、鉄酸化バクテリアと炭酸カルシウムを使って、365日24時間体制で休むことなく坑廃水の中和処理を行っています。



もりおか
盛岡市の中心部を流れる中津川では、
毎年10月～12月ごろになると、
サケのそ上や産卵行動が見られるよ！

・いわてのきれいな水を守るために、水をきれいにする工夫を考えてみよう。

・ウォーターキッズ
リンク集
[独立行政法人
水資源機構]



・こどもひろば
[岩手河川国道事務所]

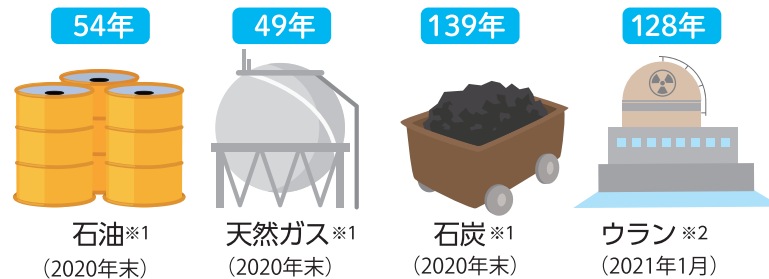


・はれるんランド
[気象庁]



限りある資源 世界のエネルギー資源はあとどれくらいでなくなるのでしょうか？

化石燃料をほり出して使っている年数は、天然ガスや石油が約50年、石炭で約140年といわれています。日本ではほとんどの化石燃料を輸入していて、原油は約95%を中東地域、天然ガスや石炭はオーストラリアなど海外からの輸入にたよっています。



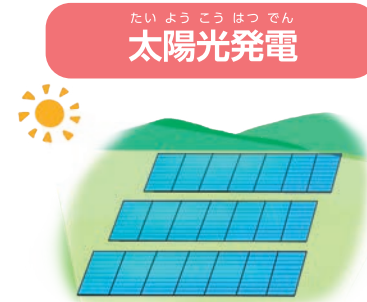
出典：(※1) エネルギー白書 2024、(※2) OECD/NEA,IAEA「Uranium2022」より作成

再生可能エネルギーとは？

再生可能エネルギーは、石油や石炭、天然ガスといった限りある資源とはちがい、太陽光やバイオマス、風力、水力、地熱など、自然の力でくり返し作り出すことができるエネルギーのことです。岩手県では、2030年までに再生可能エネルギーによる電力自給率66%をめざして取組を進めています。全国的に見ても、自然が豊かな岩手は再生可能エネルギーに適した条件がそろっています。



いわての再生可能エネルギーの種類



太陽電池を使って、太陽光のもつエネルギーを電気に変える発電方法



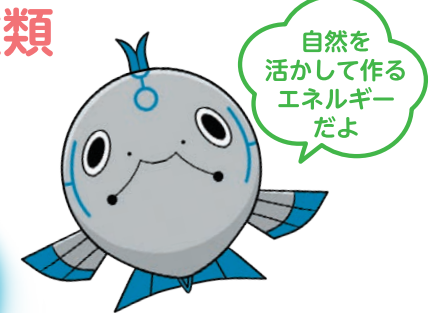
風の力で風車を回し、その回る力を発電機に伝えて電気に変える発電方法



水を高いところから低いところへみちびき、その流れ落ちる力で水車を回す発電方法



木くずや動物のふん、生ごみなど、動植物から作り出されるエネルギーを利用する発電方法



地下に存在するマグマを熱源に、高温の蒸気を回転式の機械でエネルギーに変える発電方法

・身の回りにある再生可能エネルギーを調べてみよう。

・再生可能エネルギーのよさについて話し合ってみよう。



家庭のエコチェック

行動できたことをチェックしてみましょう。



部屋の温度を確かめて、快適な服装に調節する（おおむね夏は28℃、冬は20℃） ※冷房や暖房を使わなかったときはできたことにしていよ。	160	☐
水を出しっぱなしにしない	100	☐
使っていない場所の照明や家電のスイッチを消す	30	☐
時間を空けずにお湯が冷めないうちにお風呂に入る	230	☐
ごはんを残さず食べる	15	☐
リデュースしてごみを減らす （マイボトル、マイバッグを使う）	75	☐
リサイクルをして資源を大切にする （ごみを分別した、店頭回収に協力した）	10	☐
持っている服を長く大切に着る	520	☐
テレビやゲームの使用時間を決めて、電気のムダ使いをなくす	30	☐
合計（○をつけた取組の数字をたし算してみよう）		

・どんなエコな工夫ができるか
家の人と話し合ってみよう。

・岩手県地球温暖化情報
サイト
「いわてわんこ節電所」



・デコ活
（「脱炭素につながる新しい
豊かな暮らしを創る国民運動」）
【環境省】



・じぶんごと
プラネット



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで選ばれ決められたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年までの15年間で達成するためにかけた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成され、地球上の「だれ一人取り残さない(leave no one behind)」ことをちかっています。岩手県内でもSDGsの取り組みが広がっています。

「SDGs」がかける17のゴール

SDGs(持続可能な開発目標)は、2030年まで17のゴール(目標)をめざしています。17のゴールには、それぞれにどんな行動をしていけばよいかが示された169のターゲットと、その成果を測るための232の指標がもうけられています。世界がかかえる問題を、世界中の人々が考え、目標に向けてひとり一人が取り組んでいくことが、SDGsのゴールへの大きな力となっていきます。



キャラクター紹介

環境問題の現状とこれからどう取り組んでいけばよいかを教えてくれるおじいちゃんと子どもたち、そして、未来の岩手から環境問題を知らせにやってきた未来ロボットのサケットが、いわての環境の「いま」「むかし」「みらい」を伝えます。



好奇心旺盛で
人一倍いわてが
大好きな少年

岩手たまき

小学5年生。のぞみの兄。岩手県生まれ岩手県育ち。理科が好きで、将来は研究者になりたい。妹のことを大事に思っている。趣味は水泳。

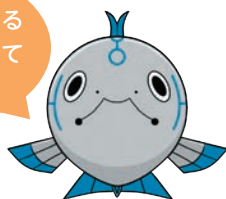


みんなの
幸せを願う
心やさしい妹

岩手のぞみ

小学2年生。たまきの妹。ちょっぴり泣き虫な女の子。色々なことを知っている兄を尊敬している。趣味はスキー。

大切なことを教える
ために時空をこえて
やってきた



サケット

未来の岩手から来たサケ型ロボット。未来にいる主人公たちの遠い子孫がつくった。自然環境の危機を伝えるために時空をこえて現代へやってきた。



いまの子どもたちに
むかしからのちえを
教えてくれる

岩手いなかう

たまきとのぞみのおじいちゃん。昔から岩手県に住んでいて、今と昔のちがいを教えてくれる。趣味はつり。

・小学生のための環境リサイクル学習ホームページ
[一般社団法人産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター]



・プラスチックとリサイクルまるわかりサイト
[一般社団法人プラスチック循環利用協会]

